

# 令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢3 にぎわいを創る「交流のしま」	
政策1 魅せる観光交流のしまづくり	本文P86～87

基本方針	観光客の動向を的確に捉え、本町の魅力を積極的に発信し、「また上五島を訪れたい」と思っただけような観光メニューの充実を図ることで観光客の満足度を高めていきます。 また、地域を越えた様々な交流を創出し、それに対応する受け入れ体制や環境の整備を進めていくとともに国際的視野を持った人材の育成と国際交流の推進に取り組みます。
------	---

3-1-① にぎわいを生む観光の振興	担当課	観光商工課
--------------------	-----	-------

## 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	滞在型観光の推進による宿泊促進及び交流人口の拡大を図るため、特定有人国境離島地域社会維持交付金を活用し、島の素材を活用した滞在プランの推進と情報発信の強化に取り組んだ。また、クルーズ客船の誘致活動に取り組むとともに、地域住民との触れ合いを通じて文化や風習、自然景観を知ってもらうことにより、観光資源のみならず、関係人口を創出することを目的に、「新上五島町教育旅行等誘致推進協議会」による民泊を通じた教育旅行の受入基盤整備や誘致にも取り組んでいる。
SDGsとの関係性	   <p>【選定理由】 地域住民との触れ合いを通じて文化や風習、自然の大切さを学習できる民泊を通じた教育旅行などを推進し、滞在型観光の促進と交流人口の拡大を図る。</p>
評価(問題点とその要因)	特定有人国境離島地域社会維持交付金を活用し、西海国立公園に指定された美しい自然景観、世界文化遺産などの歴史文化や食等の観光資源の情報発信に取り組み交流人口の拡大を図った。 また、クルーズ客船の誘致活動等により、国内船及び外航船8回(乗員乗客計2,887人)の入港を受け入れるとともに、教育旅行誘致に取組み、関東の私学高校をはじめ、合計3校298人の教育旅行を受け入れた。
今後の取組方針	滞在型の観光ルートや観光商品の創出、拡充を引き続き行い、クルーズ客船の誘致をはじめ、修学旅行の誘致や離島体験、合宿誘致、スポーツ交流、文化交流などによる交流活動の展開をすすめる。また、観光客の動向を的確に捉えながら積極的に情報発信を行う。

## 2-1. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
	観光客延数(年間)	長崎県観光統計調査	人	214,358	244,000	244,000	244,000	244,000	244,000	71.0%
					126,666	115,354	160,928	181,714	173,258	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	観光商工課				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									C
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
1 まち・ 横断	特定有人国境離島地域社会維持交付金を活用した観光情報発信及び旅行会社と連携した旅行商品の販売等により、観光客を誘客する取り組みに努めたが、令和5年度と比較し国交付金が減少したことなどから旅行商品を活用した観光客延数が減少し、目標を下回り、令和5年度よりも4.7%減となる結果となった。									C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									R4
	①課題									C
	旅行需要の回復が期待される中、本町観光WEBサイトの充実やSNS等を活用した認知度向上に向けた情報発信の強化を図り、観光客の動向を注視していく。									R5
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									R6
	地域の魅力である自然を活かしたサイクリングや釣り等の滞在型コンテンツの提案、民泊施設への整備支援を行い、受入態勢強化に取り組み、島外旅行代理店等と連携した誘致活動に取り組んでいく。									C

**2-2. 重要業績評価指標(KPI)評価**

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
2 まち・ 横断	観光客延宿泊者数(年間)	長崎県観光統計調査	人	93,793	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	76.4%
					66,344	60,264	84,940	86,992	80,212	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	観光商工課				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									
	特定有人国境離島地域社会維持交付金を活用した観光情報発信及び旅行会社と連携した宿泊を促進した旅行商品の販売、上五島星空ナイトツアー、四季を味わう上五島事業においては「ほたるのふるさと相河川」「チャーチウィークコンサート」等の開催などにより、観光客延宿泊者数を誘客する取り組みに努めたが、令和5年度と比較し国交付金が減少したことなどから旅行商品を活用した観光客延宿泊者数が減少し、目標を下回り、令和5年度よりも8.0%減となる結果となった。									
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									
	<u>①課題</u>									
	新上五島町(上五島)の認知度は高まってきてはいるものの、まだまだ認知度不足となっている。引き続き上五島の情報発信を実施していく必要がある。また、繁忙期における、宿泊施設やレンタカー不足も課題である。									
	<u>②必要な取り組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									
認知度向上、魅力発信の為の継続した情報発信を行うとともに、魅力ある体験型観光メニューの推進を行う。										
各年度の評価										
R3										
C										
R4										
B										
R5										
B										
R6										
C										

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

<p>これまでの取組</p>	<p>観〇旅行会社等に対し「しまのキャンパス体験補助事業」や「外国人観光客誘致推進事業」の制度周知を行い、誘致活動を行った。自然景観、歴史文化、食文化等の地域の「ヒト」「モノ」「コト」に触れ合い、通年楽しめる仕組みづくりを構築するため、アウトドアアクティビティを軸としたイベント企画やニーズ調査、検証等を行い、交流人口の拡大に取り組んでいる。                  み〇持続可能な島を目指し、都市住民などの多様な人材と地域内人材との融合による地域課題解決・新たな魅力づくりに向けたプロジェクトとして、「島の未来会議『ONDO』」開催、また新上五島町の未来のために、島の課題解決を目指す関係人口プラットフォーム「プレス島」を構築した。                  み〇県と協働して多文化共生の推進を図り、外国人住民に対してのやさしい日本語講座による災害時の対処法やゴミ出しのルールなど周知し、多文化共生の意識啓発・醸成に取り組む地域おこし協力隊も任命した。</p>
<p>SDGsとの関係性</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 10px;">    </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p><b>【選定理由】</b>                      持続的発展に資する人材の育成や、地域課題の解決のためのデジタル技術を活用した取組等を支援し、新たな人の流れの創出・拡大に取り組んでいく。</p> </div> </div>
<p>評価(問題点とその要因)</p>	<p>観〇しまのキャンパス体験補助事業は、修学旅行の誘致には繋がらなかったが、文化スポーツ合宿等で25団体からの活用があり、延宿泊人数は830人となった。誘致活動とPRが課題である。また、外国人観光客誘致推進事業については、国際交流員が来島し、観光物産関係の看板や店舗のチラシ英訳をはじめ、外航船のクルーズ客船入港時の受入対応、町民向け多国籍料理教室開催など業務を遂行している。今後のインバウンド対策が課題。                  み〇昨年度より運用している「プレス島」については多様な意見の交流の場として気軽に参画出来るメリットがある一方、自由すぎる意見が飛び交う事態も想定出来るため運用に一定のルールや制限の必要性があるかどうかも含めて活用の方針を検討している。                  み〇多文化共生に取り組む地域おこし協力隊を任命しており、外国人住民を支えるボランティア団体の育成や、多文化共生意識の啓発において様々な取組をとおして取り組んで行く必要がある。</p>
<p>今後の取組方針</p>	<p>観〇旅行費用を一部補助する事業は誘致活動にかなり効果的であり、誘致活動を積極的に展開する。また、補助制度内容の変更検討や、体験メニュー等の新たな観光資源の開発などに努めていくことでさらなる誘客を目指す。                  み〇関係人口プラットフォーム「プレス島」をより良い形で多くの皆様に活用していただける方法を検討し多くの意見が寄せられる参画の場となるように目指していく。                  み〇多文化共生の推進に向けて、地域おこし協力隊とともに、外国人労働者及び雇用している事業所との関係構築を図り、本町で共に働き、生活する町民として相互理解が図れるよう取り組んでいく。</p>

2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移					達成率
					上段:目標値/下段:実績値	R2	R3	R4	R5	
1 横断	離島体験等交流者数	観光体験受入実績	人	6,278	6,500 380	6,500 237	6,500 1,276	6,500 1,136	6,500 1,041	16.0%
	《成果指標の進捗状況》					担当課		観光商工課		R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									
	1泊を伸ばす体験メニューとして「五島列島キリシタン物語」「星空ナイトツアー」「漁師の朝飯」「神楽鑑賞」等の着地型体験メニューに取り組んだが、観光体験受入実績は1,041人と昨年度より8.4%減少した。					各年度の評価				
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									
	①課題									
	体験メニューの更なる情報発信が必要である。 誘客推進・雨天時の代替メニューの構築。									
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									
	事業運営者や観光物産協会との協議に努め、情報発信を行い、旅行会社や団体等にPRしていく。 また、雨天時に当日予約可能な体験メニューの提供ができる体制を構築及び体験クーポン化の推進する。									
					C					
					C					
					C					
					C					

2次評価委員会からの評価・意見等

新型コロナの影響を最も受けた本分野は依然として各事業ともKPIが目標値を達成できていない状況です。個々の数値を見れば改善傾向が見られますが目標達成の為に引き続きの取組が必要です。観光振興を図ることは島内産業の維持と交流人口の拡大に直結するため引き続き推進して行く必要がある。